

## 浜松大空襲と戦中戦後の市民の暮らし

昨年10月29日に小中学生と保護者を対象にしていたこの講座が遅い台風の接近により残念ながら延期となってしまいました。

講師の野口順平氏と日程の調整できましたので下記のように開催いたします。

今回の対象は、小学校5年以上の全住民としています。

浜松市は、東京、大阪、名古屋に次いで空襲を受けた回数が4番目に多い都市でした。

総務省の資料によりますと、市街地の92%が灰となり、昭和19年の18万余の人口も、20年には8万人となってしまいうほどになりましたが、そんな焼け野原の市街地が戦後3年ほどたつとマーケット（ヤミ市）ができ、映画館もできる復興ぶりには今でもどこにそんな力があつたのか不思議でなりません。

講師の野口氏が事例を示しながらわかりやすくお話してくださると思います。

皆様お誘いあわせの上ご参加くださいますようお願いいたします。

なお、資料の準備のため2月10日までに下記に申し込んでください。

### 記

1. 日時 2月17日（土）10：00から11：30
2. 場所 佐鳴台協働センター ホール
3. 講師 浜松市学校サポートバンク 野口順平氏
4. 持物 筆記用具
5. 申込方法 協働センター内「ふれあいコーナー」の申し込みボックス  
毎水曜日の午前9時から11時 電話 447-7477  
随時 事務局（織田） TEL & FAX 489-4538

### 申 込 書

丁 目	氏 名	氏 名